

ではないか、つらくなっても医療者が対応してくれないのではないか、入院を希望したときに入れないのではないか、家に帰ったら必要な治療が受けられないのではないか、家族の負担がすごく増大するのではないか、などの5つの不安が患者、家族にあるからとした。そして、これらの不安を解消するために、痛みなどの症状はかなりの部分が緩和できることを伝える、何かあったら24時間、365日対応することを約束する、いつでも緊急入院できる後方ベッドを確保しておき、必要なときには入院することが可能であることを伝える、家に帰っても苦痛の緩和のために必要な医療的処置は受けることができることを伝える、終末期がん患者さんの介護は一般的にそれほど長期にならないことを伝える、ことを述べられた。

つづいて、大岩先生も交えて討論が行われた。従来から言われてきた、在宅緩和ケアの阻害因子とされる介護力、症状緩和、急変時対応について、意見交換がなされた。シンポジストの発表にも共通していたが、できるだけそれまでの医療情報を基しての予測される病状変化、これから起こりえる療養状況に対する対応のあり方、ケアチームの対応予定などについて説明し、しかもこれらの基本的ケアをきちんと開始することにより、患者、家族の理解が深まり安心して継続、ということになるという結論であった。さらに、本来のホスピスは在宅にあり、ということであるが、では一体、どこの誰が担うのか、ということになる。各在宅療養支援診療所への期待が大きいことが示された。

お知らせ

平成21年度 北海道医師会賞の推薦募集開始

北海道医師会では、北海道医師会員であって医学的研究ならびに医事衛生に関し優秀な業績をあげている個人または研究団体の中から選定して、毎年「北海道医師会賞」を贈り、その業績を顕彰しています。

今年度も推薦募集を開始いたします。賞金は20万円。贈呈式は、9月26日(土)に開催する第89回北海道医学大会総会で行われます。また、受賞者には、北海道知事賞が贈呈される予定です。

記

1. 北海道医師会員であって、医学的研究ならびに医事衛生に関する優秀な業績をあげている個人または研究団体が対象です。
2. 応募には、所属郡市または医育機関医師会長の推薦が必要となります。詳細については、所属医師会へお問い合わせ下さい。
3. 推薦締切日 平成21年6月26日(金)

北海道医師会事業第三課

TEL 011-231-1726

FAX 011-252-3233

E-mail:jigyos3ka@m.douji.jp